



ー夏季休業中に英語を学び直すなら、この一冊はいかがでしょう！ー

■ クラスルーム・イングリッシュ，ちょっとした一言を増やすならコレ！

- クラスルーム・イングリッシュは、なぜ使った方がいいか？キーワードは・・・
 - ▶ 英語によるインプットの重要性
 - ▶ 日本における英語学習環境
 - ▶ 中学校との連携・接続
 - ▶ World Englishes（世界の英語）
 - ▶ 英語を使おうとするロールモデル
 - ▶ 自然で意味のあるコミュニケーション
 - ▶ 自分の感情や思いを表現

さて、クラスルーム・イングリッシュ（教室英語）の大切さ・必要性は、これまでも様々な研修の場で耳にしていることと思いますが、「どう増やすか」については、多忙な毎日をご過ごしている先生方においては、なかなか悩ましいところがあります。そこで、「この休業中に勉強だ！」と考えている先生方に、『ネイティブなら子どものときに身につける英会話なるほどフレーズ100』を紹介しします。初版は2000年で、15年以上のロングセラーとなっている1冊です。Stage1はBABY編。「1. Go ahead. (どうぞ/やっいていいよ) 2. Here. (はいどうぞ) 3. Almost! (おいしい!）」など、Simple is best. の考え方が小学校英語にピッタリの1冊だと思います。ちなみにStage2はKID編。Stage5のTEENAGER編まであります。



■ 「英語は苦手だ！」とギブ・アップする前にコレ！

「英語は苦手だけど、ギブ・アップしたくない!!」という先生方には、『中1英語をひとつひとつわかりやすく』を紹介しします。こちら初版は2009年、今年2月に第20刷を数えたロングセラーです。過日行われた中学校英語二種免許の認定講習説明会では、北教大札幌校の志村昭暢 准教授が「勉強し直しのための一冊」として紹介していました。内容を見てみると、「『何?』とたずねる文①」では、What's this?, 「時刻・曜日をとずねる文」では、What time is it? など、確かにHi, friends! で見かける英文が数多く登場してきます。もちろん、この通りに児童に指導するわけではありませんので、あくまでも「指導者の英語学び直し」のための一冊と考えて、「教材研究」するのでもいいと思います。さすがに中1英語ですから、「うんうん! わかるわかる!」といった感じでページが進んでいきますので、意外に? けっこう? 楽しいかも!

併せて、「中1英語は大丈夫!」という先生方には、『中学英語をひとつひとつわかりやすく』をおススメします。こちらは中学英語3年分の復習ができます。中学英語と言っても3年分となると、不定詞や現在完了形、関係代名詞など、なかなかの文法事項が登場してきます。ですが、小学校英語に必要な英語の基礎はひとまずこの1冊で十分でしょう。



■ みなと小 外国語活動ミニ研修

一足早く夏季休業に入った本務校みなと小では、先日24日(月)外国語活動のミニ研修(1時間)を行いました。移行措置の情報提供と指導のスキルアップを目指したアクティビティの実技研修を行いました。ミッシング・ゲームやカルタなど、「単語の習得」に絞ってこの日は行いました。参加された先生方の積極性のおかげで、短時間ながら、よい研修ができたと思います。

